

2025/12/20

麗風会

浦和一女卒業生 意見交換会書面参加者の意見

1

今回の急な共学化への方針転換の流れを大変危惧しております。

私は埼玉県立の女子高出身者で現在は県外に住んでおります。

私の住んでいる地域では既に全校共学化が標準となっておりますが、自分自身の経験から埼玉県の選択肢の多い教育環境は羨ましくさえ思われます。

何故なら母校で学んだ3年間は長い人生を通して自分自身を見つめ、自分自身を知るという私にとって最も大変貴重な時間だったからです。

思春期の学生にとって男女それぞれが様々な価値観の中で成長するのはもちろん意義のある事だと思います。

ですが、同時にこの最も感受性の豊かな時期に周りを気にせずしっかり自分自身と向き合い、自己を育てる事もその後の人生に大変価値のある事だと思うのです。

その点でこの年頃の学生にとって別学校は異性を気にせず、のびのびと自分の好きな事に没頭し、自発的にリーダーシップを取ったり他者の存在をも尊重し協力しあったり、社会に出て活躍できる力をしっかり育てられる最適な環境だと思います。

変化の激しい今の時代にあって、経済的な効率や安易に時代の流れというような表層的で短期的な視野で大事な教育の環境を切り捨てるようなやり方は賛成できません。

勿論、事実は現実的に見る必要はありますが、県に現在残っている別学校で生徒数の定員割れをおこし、学校として存続の危機にあるのではないのなら、少なくとも冷静に判断される事を望みます。

県の現在の選択肢の多い教育環境はこれからの社会で活躍できる人材を育てる、むしろ先進的なものであると考え、慎重にご判断いただく事を切に願います。(1976年卒)

2

共学化勧告に反対です。

卒業生としてハッキリ言いたいのは、全ての人が自分らしく生きていくために、異性の目を気にせず自分と向き合えるのは、共学よりもむしろ別学だ、ということです。(小)中高一貫の別学私立校に比べ、県立の別学高生の大半は幼稚園(保育園)、小学校、中学校と共学の中で過ごしてきた人だと思います。たかだか3年間の別学生活で男女共同参画に支障をきたすなどとは思えません。

卒業後、別学の3年間で大学(女子大を選ぶ方もいます)や大学院、その後の仕事に悪い影

響を与える、とでも言いたいのでしょうか？

県には納得のいく回答を求めたいと思います。(1977年卒)

3

共学化に反対する理由について、すでに大勢のひとたちが語り尽くしている感があり、それでも共学化が進むならもう埼玉終わってるとしか言えない…。とても残念です。

私自身のことになりますが、一女はラクでした。余計なこと(当時の私にとっては男女のこと)を考えずに自分自身とじっくり向き合うことのできた3年間でした。

ちょっと変でも居場所はある、自由でした。

女子だから、という観点でのしぼりが全くない自由さを知ってしまうと、わざわざ共学にするなんて考えられません。

現在大学1年の娘が一人います。彼女は中高一貫の私学の女子校にいきました。

そこも素晴らしい女子校で、女子が当たり前になんでもします。ですが、女性としての生物学的な特徴や課題から目をそらさずに、自分たちが解決する課題として自ら学び、それを男子校にシェアする取り組みもしています。

要は、別学であっても男女お互いに違いを理解し認め合えばよいのだと思います。

それには、まず自分を知ること、そして他を理解すること。

別学だからこそ成長できる道を閉ざすのは、本末転倒だと考えます。(1983年卒)

4

1番の問題は、県が現役高校生にアンケートを実施した結果、別学支持が多かったという結果が出たのにも関わらず、このまま共学化を進めることになれば、その意見が反映されないということです。その後も反対運動に参加する高校生も多い。政治に参加する初めての機会の子どもたちが、民主主義を体感する機会なのに、多数決の原理も、変えようとする意気込みも却下されてしまう。政治はどうせ変えられないという、無力感を教えることになります。賛否はあるが、昨年あった兵庫県知事選は、劣勢だった候補が勝った。普段なら選挙に行かないような人も問題意識をもって投票に行った結果だと思います。政治参加への成功体験をした兵庫から日本が変わっていくのではと思ったほど、大切な体験だと思います。

2番目に、多様性。私は英国、ニュージーランド、マレーシアなどに在住歴がありますが、どの国にも、公立の別学はあります。日本より男女共同参画が進んでいる国々でもなのです。だから、そもそもの問題提議に根拠はない。埼玉は、共学に行きたい人の選択肢が多くあり

ます。言い出したらキリがないが、共学の方が圧倒的に数が多く別学の数少な過ぎるわけだし、男子校の浦高に行きたい女子の意見が通るなら、別学に行きたい子の意見はどうなるのでしょうか。

3番目は、なぜわざわざいいものを潰すのか。埼玉の別学校は築いてきた伝統があり、評判もよい。それを無理やり潰す暴力を許すべきではないと思います。

県の決定機関の方々が県民の意向を無視し強行した選択をして、影響を受けるのは未来の子どもたちです。県の決定機関の人々は10年後は自分たちには関係がないわけで、民意を無視して進めるのは無責任だと思います。(1983年卒)

5

共学化に反対します。多様化が推進されている現在、全ての公立校を共学化へというのは、一見「性別にかかわらず行きたい学校に進学できるようにする」と多様化を進めているように見えますが、実際には別学で学びたい学生の選択肢を狭めることとなります。そのような側面を見ずに短絡的な議論で共学化を進めることには反対です。(1983年卒)

6

共学化には反対です

多様化の時代であればなおさら、男子校、女子校、共学校、と選択肢があるのは良いことなのでは。各高校が培ってきた伝統・個性を引き継いでいく大切さも感じています。(1983年卒)

7

定員に満たない状況が続いているなら考えなくてはいけない。しかし現状、入学希望者が多数いるにも関わらずその希望を無きものとするのは、現在世の中の流れに逆行する人権無視と言える。多感な年頃に男女別学に過ごすのはその後の人生に良くないとの意見も聞かれるが、それならば男女別学の私学に通う多くの学生たちはどうなのか？

女子校出身者は社会に適応できてないのか？そのようなデータを示すことができるのか？

これらのことを理由に浦和第一女子高等学校の共学化は納得できない。

入学希望者がいなくなり定員割れが起こってしまう時まで、今後とも入学を希望する生徒たちの選択肢を提供して欲しい。(1983年卒)